

岩尾別地区カメラ調査の結果（速報）

北海道大学大学院農学研究院

愛甲哲也・妹尾咲絵子

■調査概要

**目的：**本調査は、岩尾別川沿いにおける利用者の問題行動およびクマ渋滞の実態を、定点カメラによって継続的に記録・把握し、その発生傾向や状況を明らかにすることで、今後の管理・対策の検討に資することを目的とし、実施した。

**撮影日：**2025年9月8日（月）～11月18日（火）

**撮影時間：**4:30～18:00

**撮影方法：**5分ごとのタイムラプス撮影（同時撮影の10秒の動画にて行動を確認）

**撮影地点：**3か所（①町道温泉道路 ②岩尾別ユースホテル前 ③岩尾別ふ化場前）

**合計撮影枚数：**33,204枚

**記録項目：**停車台数・徐行台数・降車人数・観察人数・撮影人数・カメラ所持者人数  
（観察・撮影はヒグマの出没に関わらず、当該行動を記録）



カメラの設置場所



カメラの視野範囲（町道温泉道路）



（岩尾別ユースホテル前）



（岩尾別ふ化場前）

■結果概要

- ・町道温泉道路では、ヒグマの出没有無にかかわらず停車・降車・撮影という行動が発生していたが、パトロール時には発生頻度が低下していた。
- ・岩尾別ユースホテル前では、全体として発生頻度は低かった。
- ・岩尾別ふ化場前では、ヒグマ出沒時に発生頻度および停車台数・降車人数が大幅に増加した。パトロール時には、発生頻度は高い一方、発生時の平均台数・人数は低下していた。
- ・全地点に共通して、ヒグマの出沒により発生頻度および規模が増加していた。
- ・パトロールの効果は地点により異なり、町道温泉道路では行動頻度を、岩尾別ふ化場前では行動規模を抑制している可能性が示唆された。
- ・ヒグマ出沒時の複数台停車およびクマ渋滞へのパトロール対応は多く確認されたが、発生から到着までに時間差が存在していた。
- ・日別の行動観測割合は、町道温泉道路では9月8日、岩尾別ふ化場前では10月5日にピークが集中していた。
- ・日別の行動観測延べ数は、町道温泉道路では10月8日、岩尾別ユースホテル前および岩尾別ふ化場前では10月12日にピークが確認された。

■行動観測割合とヒグマ出沒時間

- ・ヒグマ出沒時間：カメラ画像によりヒグマ出沒が確認された枚数および、目撃アンケートの目撃回数を観測単位とし、重複するものを除いて撮影間隔5分を乗じて算出した。
- ・観測割合：日毎の全撮影画像枚数のうち各利用者行動が観測された画像の割合（％）

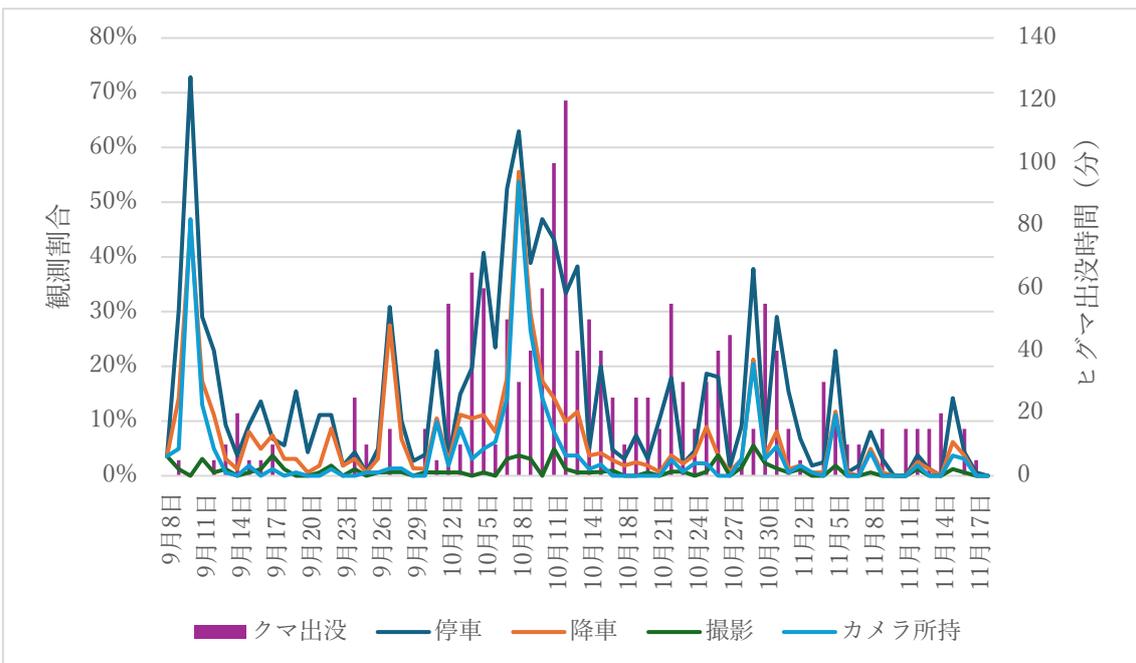


図1 町道温泉道路における各利用者行動の日毎の観測割合とヒグマ出沒時間

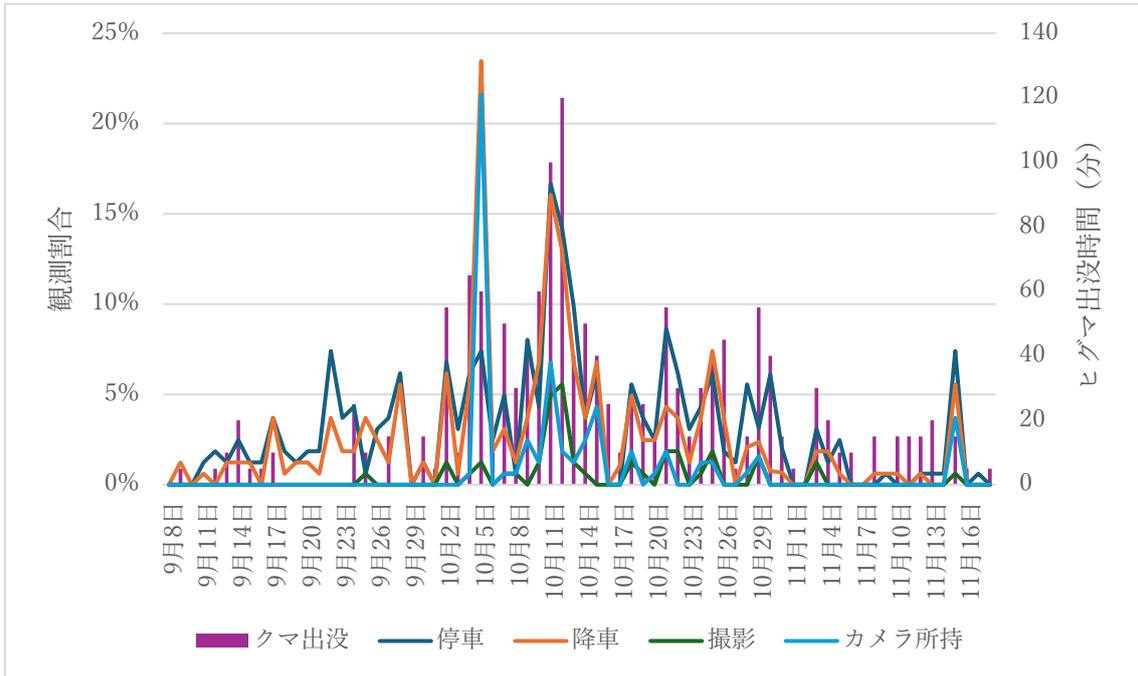


図2 岩尾別ふ化場前における各利用者行動の日毎の観測割合とヒグマ出没時間

■時刻毎の各利用者行動の観測割合

・各時刻に撮影された全地点画像枚数のうち各利用者行動が観測された画像の割合(%)

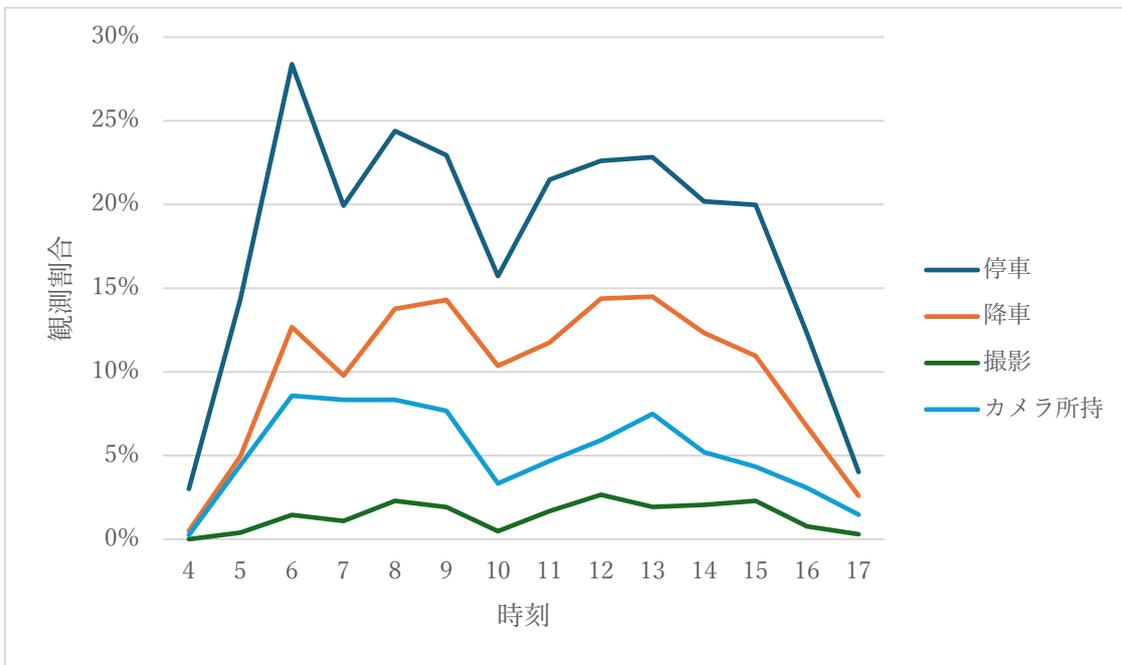


図3 全地点の記録を合算した利用者行動の時刻毎の観測割合(撮影枚数に対する割合)

■クマ渋滞の発生状況

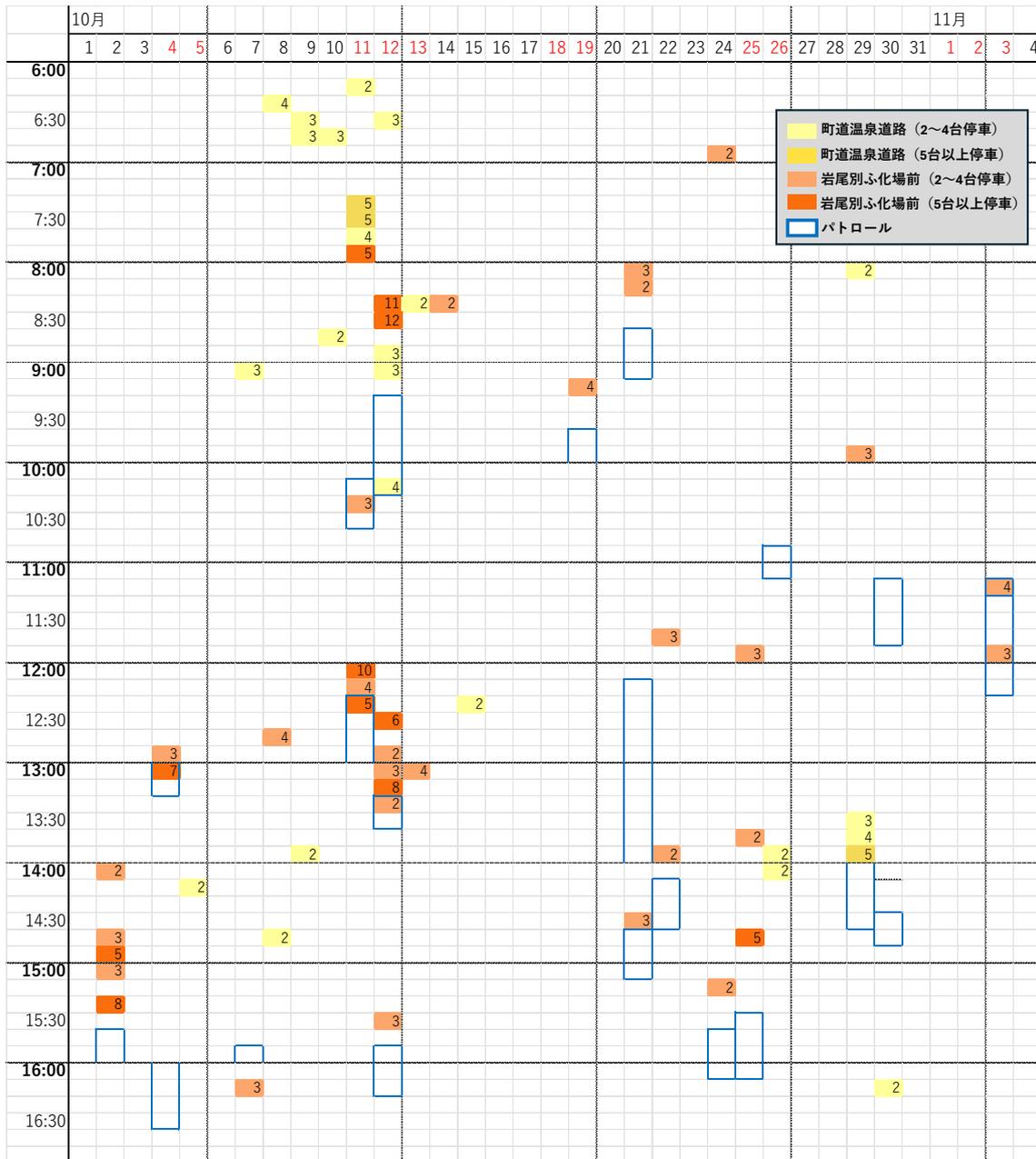


図4 ヒグマ出没下での複数台の停車とパトロールの状況

黄色：①町道温泉道路におけるヒグマ出没時の複数台の停車（2～4台：淡色・5台以上：濃色）  
 橙色：③岩尾別ふ化場前におけるヒグマ出没時の複数台の停車（2～4台：淡色・5台以上：濃色）  
 青枠：渋滞や複数台の停車が通報やパトロールによって確認され、知床財団が現地対応を行った時間帯

※ 環境省および知床財団による定期的なパトロールはこれ以外にも実施されているが、本図には含めていない。